

兵庫医科大学病院

2026 年度理学療法士及び作業療法士レジデント募集要項

兵庫医科大学病院における理学療法士・作業療法士レジデント制度は、卒業後に更なる臨床研修の機会を与え、チーム医療の一員として活躍・飛躍できるよう、より質の高い臨床療法士の育成を目標とする研修制度です。本制度は、1年更新で2年まで在籍可能であり、急性期病院におけるリスク管理と生命の尊さを実感し、専門的知識により必要な評価を客観的に行い、特徴ある技能と患者に対する真摯な姿勢を培うことを目標とします。

募集人数 若干名

応募資格 2026年3月に卒業し、理学療法士又は作業療法士の国家資格を取得見込の者

募集コース・研修期間 理学療法士及び作業療法士レジデント・2年間
作業療法士については身体障害領域、精神障害領域の選択可能（両方経験も可能）

研修場所 兵庫医科大学病院 リハビリテーション技術部

プログラム

■ 研修方法

当院のレジデント制度では、幅広い疾患（運動器疾患、呼吸器疾患、循環器疾患、神経疾患など）の臨床経験や各種研修・講義、チーム医療への参加を通じて、急性期リハビリテーションに対応できる療法士の育成を目標としています。

● On-The-Job Training (OJT)

レジデントに対し1名のプリセプターを配置し、年間を通して実地での臨床業務や事務作業の指導を行います。また、当院では指導者の指導内容や方法の均霑化を図ること、また、幅広い疾患の療法を身につけるために、チェックリストを用いた指導を実施しています。さらに、チーム医療を学ぶために看護部の新入職員研修への参加、リハビリテーション科医師や院内チーム医療の見学等も行います。

● Off-The-Job Training (Off-JT)

新入職員研修の他、年間を通して各専門分野に精通した療法士がレジデント講義を実施します。また、リハビリセンターでの症例検討会や各部門や所属チーム内での勉強会を定期的に行います。

● 自己啓発援助制度 (SDS)

県の新人発表、その他学会発表、論文作成（主にケースレポート）のサポートをプリセプターまたは所属チームの指導者が行います。また院外研修会や資格の取得について情報提供を行います。

■ 研修内容一覧

◇2025 年度新入職員研修実績

- ・看護部研修への参加 輸液機器、酸素療法、BLS、感染予防策など
- ・部内研修への参加 感染対策、医療安全、リハビリテーション医学総論、電子カルテの使い方、カルテの書き方、診療報酬について、コミュニケーション・患者接遇、リスク管理、FIM 研修会、褥瘡研修会（褥瘡クッションやマットレスの使用方法）、リハビリテーション評価法（筋力、バランス、歩行能力評価、上肢機能、高次脳機能評価、嚥下評価など）、神経所見の取り方、フィジカルアセスメント（呼吸の診方）、装具療法、関節可動域訓練、筋力増強運動、物理療法機器の使い方、社会資

- 源・福祉サービスについて、褥瘡対策、論文検索、症例発表の作り方、急変時対応、吸引研修会)
- ・ カンファレンス等への参加 部内・病棟各種カンファレンス、院内医療チーム（精神科リエゾン、NST、RST、褥瘡対策チーム、排尿ケアチーム）、心不全教室、腎臓病教室
- ・ 診察、検査見学 装具診察、リハビリテーション医師診察、嚥下造影検査など
- ・ 他病院見学 ささやま医療センターや関連病院など

◇2024 年度レジデント講義実績

- ・ 循環器疾患(内科・外科)に対するリハビリテーション
- ・ 呼吸器疾患(内科・外科)に対するリハビリテーション
- ・ 外科系(上部・下部消化管、肝胆膵)周術期のリハビリテーション
- ・ 救命救急センターにおける急性期リハビリテーション
- ・ SCU・脳神経外科領域のリハビリテーション
- ・ 神経筋疾患に対するリハビリテーション
- ・ 整形外科関連のリハビリテーション(①脊柱疾患、②関節疾患)
- ・ NICU・GCU・小児におけるリハビリテーション
- ・ がん患者へのリハビリテーション ・ 腎臓リハビリテーション
- ・ CI 療法 ・ 摂食嚥下 ・ 高次脳機能障害 ・ 精神疾患、せん妄 ・ 栄養について
- ・ 脳画像の見方 ・ 論文の読み方 ・ 症例報告作成支援 ・ キャリア形成
- ・ レジデント同士の発表交流

■ 2024 年度臨床実績（在籍 2 年間の実績）

1 年目：神経筋疾患/整形疾患/内部障害、脳血管障害/整形疾患/内部障害

2 年目：心臓リハビリ/集中治療領域

運動器疾患 67 例、呼吸器疾患 34 例、脳血管 68 例、心大血管 54 例、廃用症候群 60 例 合計 283 例

募 集 締 切

2025 年 9 月 12 日（金）※必着

○提出書類 ①履歴書（「理学療法士又は作業療法士レジデント希望」と明記）

②成績証明書、③卒業見込証明書

※履歴書に連絡用のメールアドレスを必ずご記入ください。

※正職員と併願の場合は「正職員・レジデント併願希望」と明記してください。

○提 出 先 人事部病院人事課（下記参照）

研修開始予定日

2026 年 4 月 1 日

選 考 方 法

筆記試験、面接試験（選考試験日：2025 年 9 月 29 日【予定】）

手 当

月額 195,000 円 賞与なし、時間外手当あり、住宅手当なし、
通勤手当（上限 55,000 円／月）あり、社会保険等あり、
有給休暇 1 年目 10 日・2 年目 11 日、リフレッシュ休暇 3 日

問 合 先

兵庫医科大学 人事部病院人事課

〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町 1 番 1 号

TEL 0798-45-6528（直通）



病 院 見 学

ご希望の方は下記もしくは見学フォームにてご連絡下さい。

PT 部門：E-mail yamashin@hyo-med.ac.jp】又は TEL **【0798-45-6358】** 担当：山内（理学療法士）

OT 部門：E-mail hashishi@hyo-med.ac.jp】又は TEL **【0798-45-6388】** 担当：橋本（作業療法士）

兵庫医科大学病院リハビリテーション技術部見学フォーム <https://forms.gle/tALECnmS3vzss8it9>



 兵庫医科大学病院

リハビリテーション技術部

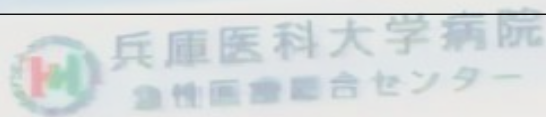
Department of Rehabilitation Medicine, Hyogo University Hospital





兵庫医科大学病院

理念



兵庫医科大学病院は、安全で質の高い医療を行い、地域社会へ貢献するとともに、よき医療人を育成します。

- ◆ 病床数 963床（一般：919床，精神：44床） 県内最大規模
- ◆ 診療科 41の診療科数（疾患・臓器別）
- ◆ 最新医療設備 手術支援ロボット「ダビンチXi」
がんの早期発見「PETセンター」
高度かつ先進的医療「急性医療総合センター」



兵庫医科大学病院

❖ 特定機能病院

国指定の「特定機能病院」

兵庫県内には当院含め2施設のみ



❖ 災害拠点病院

阪神地域を支える「災害拠点病院」

阪神・淡路大震災や福知山脱線事故などで救護活動



兵庫医科大学病院

兵庫医科大学病院
急性医療総合センター

新病院棟：2026年開院予定
842床(新病院棟) 全体:963床(予定)



HYOGO MEDICAL
UNIVERSITY HOSPITAL

リハビリテーションセンター

- ・ リハビリテーション科 医師10名
- ・ リハビリテーション技術部 療法士72名

理学療法士：34名（レジデント10名）

作業療法士：17名（身障OT15名，精神OT2名）

言語聴覚士：10名

理学療法助手：1名



- ❖ 連携を重視したチームで**超急性期リハビリテーション**を実践
- ❖ 全入院患者さんの約4割の方へ各療法を提供

（2025年5月現在）

多様な疾患に対する療法を行っています



運動器疾患の
リハビリテーション



脳卒中の
リハビリテーション



呼吸器疾患の
リハビリテーション



がん患者の
リハビリテーション



小児の
リハビリテーション



心臓
リハビリテーション



SCUでの
リハビリテーション

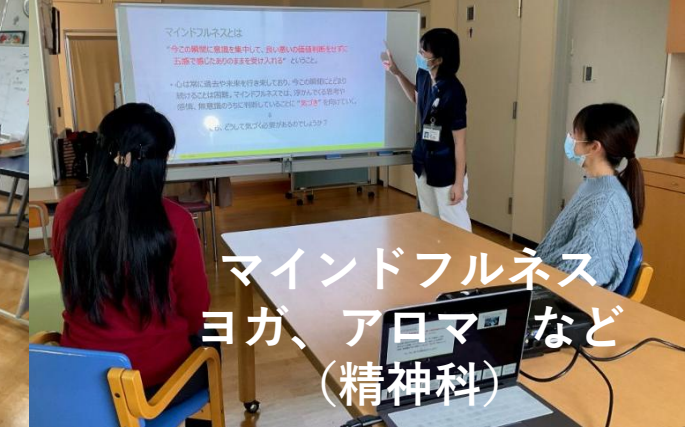


ICUでの
リハビリテーション

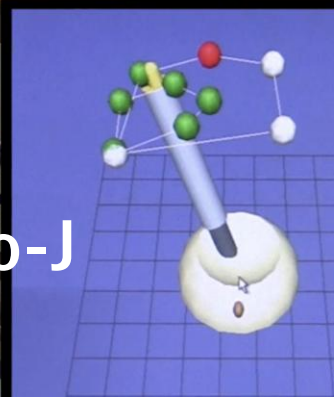
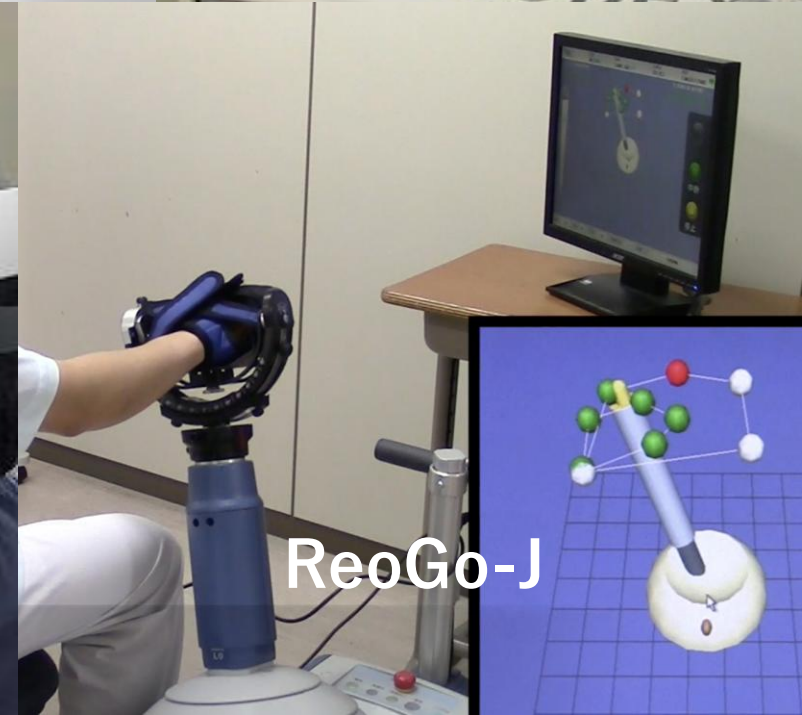


神経疾患の
リハビリテーション

目的や状態に応じた幅広い介入を実施しています



各種機器を活用したリハビリテーションを実施しています



チーム医療

○チーム医療とは、一人の患者さんに対し、複数のメディカルスタッフ（医療専門職）が連携して、治療やケアに当たることです。

○異なる職種のメディカルスタッフが連携・協働し、それぞれの専門スキルを発揮することで、患者さんの生活の質（QOL）の維持・向上を図ります。

専門チーム

専門性の高い各職種が専門チームを形成し、改善を図っていきます。

- ・褥瘡管理チーム

褥瘡の予防・早期発見に努め、適切な褥瘡管理によって改善・治癒を目指します。

- ・緩和ケアチーム

治療することがほとんどできない病気になった患者さんとそのご家族にチームで介入することでQOLを改善します。

- ・呼吸ケアサポートチーム

呼吸に問題を抱える患者さんに対して、早期に呼吸状態の改善を図ります。

- ・リエゾンチーム

患者さんやご家族に対し、「こころのケア」をはじめとする精神科医療サービスを多職種で提供しています。

- ・栄養サポートチーム

適切な栄養管理を行い、全身状態の改善、合併症の予防を目指します。

チームカンファレンス

それぞれの専門職としての立場から患者さんについての治療方針や退院について話し合いを行います。



レジデント制度の理念

卒後のさらなる臨床研修の機会を与え、チーム医療の一員として活躍・飛躍できるよう、より質の高い臨床療法士を育成

急性期病院におけるリスクマネジメントと生命の尊さを実感し、専門的知識による客観的評価を行い、技能と患者さんに対する真摯な姿勢を培う

レジデント制度の概要

【対象】

2026年3月に卒業し、理学療法士又は作業療法士の国家資格を取得見込の者

【期間】

研修期間1 年更新で2年まで在籍可能

【目標】

幅広い疾患(運動器疾患、呼吸器疾患、循環器疾患、神経疾患など)の臨床経験や各種研修・講義、チーム医療への参加を通じて、急性期リハビリテーションに対応できる療法士になることを目指す

レジデント教育について

■ On-The-Job Training (OJT)

- ・ 実際の臨床業務を通して行う研修
- ・ マニュアルに則り年間を通して実地での臨床業務を学ぶ

■ Off-The-Job Training (Off-JT)

- ・ 臨床現場以外での研修
- ・ 各研修,症例検討,各所属チーム内での勉強会や実技指導
- ・ 兵庫医科大学教員によるレジデントEBPTプログラム

■ 自己啓発援助制度 (SDS)

- ・ 年1回学会参加・発表に関して、部の規定により支給



レジデントのためのEBPTプログラム概要

質の高い理学療法法を実践するために根拠に基づいた理学療法 (Evidence-based Physical Therapy : EBPT) を学ぶ

- レジデントを対象として文献検索や論文の読み方、批判的吟味、臨床への適応などEBPTに関する講義や指導を行う
- 講義のみではなく、議論や発表などを通して学習する
- 新人発表など2年間のうちにケースレポートの作成を目指す

EBPTプログラムの内容

1年目：EBPT実践のための基礎知識を習得

2年目：学会発表・症例報告（ケースレポートの作成）

- ・ Evidence based medicine(EBM)とは何か
- ・ 情報リテラシー(一次情報、二次情報)
- ・ ガイドラインの理解と活用
- ・ 文献検索の仕方
- ・ 研究論文の読み方、批判的吟味
- ・ EBMのステップを踏まえた理学療法の展開 など…

2年間のスケジュール

1年目

- 2つのチームを半年間でローテーションし、1年間で幅広い疾患に対応できるようになる
- 4-5月は臨床見学と新入職員研修期間
- 院内症例検討会の発表
- 新人症例発表会

2年目

- 個々の興味のある領域のチームに所属し知識と技術を深める
- 院内症例検討会/論文抄読会の発表
- 学会発表またはケースレポートの作成

 兵庫医科大学病院

2023年度リハビリテーション技術部
スタッフ育成チェックリスト

職種：_____

氏名：_____

プリセプター：_____

EMPOWER THE PEOPLE

心に響く医を、私たちがいるかぎり



PT診療科配置（2023年度）

Group A		Group B	
整形外科	脳神経外科	整形外科	呼吸器外科
循環器内科	心臓血管外科	救命救急センター	呼吸器内科
精神科神経科	放射線科	脳神経内科	泌尿器科
血液内科	眼科	小児科	小児外科
腎・透析内科	ペインクリニック	NICU	産婦人科
リウマチ膠原病科	形成外科	上部消化管外科	下部消化管外科
肝胆膵内科	皮膚科	炎症性腸疾患内科	炎症性腸疾患外科
		消化管内科	肝胆膵外科
		糖尿病・内分泌	歯科口腔外科
		耳鼻咽喉科	

新入職員は半年でグループをローテーションします

新入職員研修

療法士教育講義・研修会

- 診療報酬について
- コミュニケーション・患者接遇
- リスク管理
- リハビリテーション評価法（各療法）
 - ・筋力、バランス、歩行など
 - ・高次脳機能障害など
 - ・嚥下機能、失語症など
- 神経所見の取り方
- 呼吸のフィジカルアセスメント
- 装具療法について
- 関節可動域訓練
- 筋力増強運動
- 物理療法機器の使い方
- 急変時対応
- 吸引研修会
- FIM 研修会
- 褥瘡研修会

他部署での研修・見学

- ささやま医療センターへの見学
- 看護部研修への参加
(リハ部門では補えない医療機器の取り扱い等)

院内活動などの見学

- 院内医療チームへの参加
 - ・精神科リエゾン
 - ・栄養サポートチーム
 - ・呼吸ケアサポートチーム
 - ・褥瘡対策チーム
 - ・排尿ケアチーム
- 心不全教室
- 腎不全教室
- 各種病棟でのカンファレンス

部内見学

- ・装具診
- ・リハ科医師診察
- ・嚥下造影検査



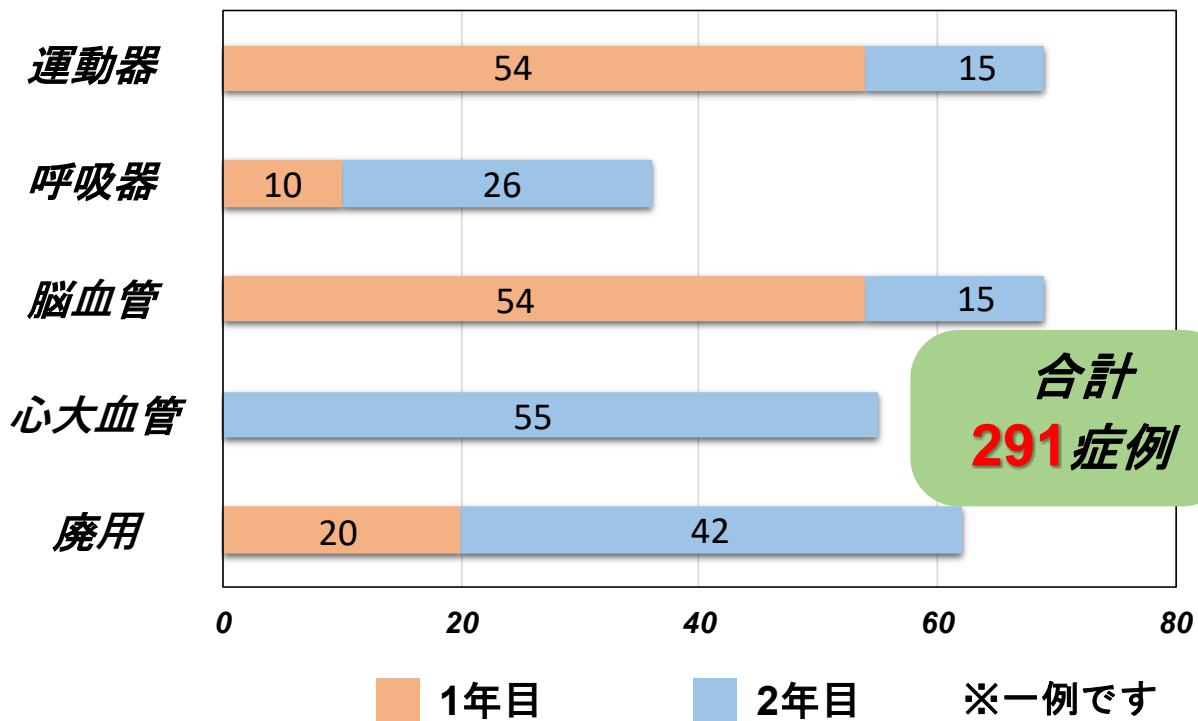
(2023年度新入職員研修実績)

研修風景



担当症例数

症例数 (疾患別リハ：2021年4月～2023年2月)



- レジデントは正職員よりも担当患者数を少なく設定
- 1症例に時間をかけて介入し終了後は自己学習に当てる



1人の患者さんから多くを学び
質の高い療法を提供していく

当院レジデントの声

現在理学療法士レジデント、2年目として勤めています。

各領域を専門とした先生方からの指導や患者さんから学ぶことも多く、とても充実した1年間を過ごしました。2年目からは集中治療が必要な患者さんを担当する機会が増え、重症化や急変リスクがある中で他職種と連携して質の高い医療を目指しております。また、学会発表や論文執筆の機会もいただき、良い経験を積む機会が多くあります。（PTレジデント2年目）

高度急性期医療を担う兵庫医科大学病院では、幅広い診療科のリハビリテーションを経験することができ、日々状態の変化する患者さんに対するリスク管理や、各疾患に対する客観的な評価の仕方などを学ぶことができます。また定期的に各疾患のリハビリテーションに関する勉強会も開催されており、より専門的な知識や技術を学ぶこともできます。（PTレジデント1年目）

当院レジデント修了生の声

レジデント2年間を通して、ひとつひとつの症例を多角的な視点を持ち丁寧に経過を追うこと、また患者さんから学ぶ姿勢で日々の臨床実践に向き合うことを学びました。レジデント修了後は回復期病院に勤務し、兵庫医大レジデントとしての2年間の経験は現在診ている多疾患併存の患者さんに活かすことができます。急性期を経験してから回復期に進みたいと思っておられる学生さんは是非兵庫医大のレジデントに応募してみてください。応援しています。（2022年度修了 現在回復期病院に勤務）

レジデントの2年間で様々な疾患を経験させていただいて勉強になりました。特に呼吸の評価は今でも活用しています。必ずセラピストの成長に繋がると思うので、興味があればぜひ応募してください。（2021年度修了 現在回復期病院に勤務）

兵庫医科大学病院のレジデントを経験して良かったことは、高度急性期医療を担う大学病院の特徴である、ICUなど超急性期の患者さんや、幅広い診療科の患者さんのリハビリテーションを経験できたことです。元々、興味のある領域が定まっていなかった私も、レジデントを経験するなかで興味のある領域がみつきり、より一層、臨床業務へのモチベーションに繋がりました。また、学会発表や論文投稿などのアドバイスをしてくれる先輩方も多く、院外活動にも挑戦しやすい環境であると感じています。機会があればぜひ応募してみてください。（2020年度修了 現在は当院に勤務）

お問い合わせ

兵庫医科大学病院リハビリテーション技術部見学フォーム

<https://forms.gle/tALECnmS3vzss8it9>



PT 部門:E-mail 【yamashin@hyo-med.ac.jp】 又は TEL 【0798-45-6358】 担当:山内(理学療法士)

OT 部門:E-mail 【hashishi@hyo-med.ac.jp】 又は TEL 【0798-45-6388】 担当:橋本(作業療法士)

EMPOWER THE PEOPLE

心に響く医を、私たちがいるかぎり



@hyomed_rehab



hyomed_rehab